

**講座** 戯曲を声に出して読んでみよう

実際に声に出して読んでみながら、戯曲を読み解き紐解き、リーディング形式での発表も行います。  
 12月6・7・9・10・14日 19時～22時30分/パビオビールーム  
 12月15日10時～22時/あじびホール【定員】15名程度【参加費】2,000円  
**★発表 12月15日 10時～22時/あじびホール**

参加者募集! 発表あり

作品『血は立ったまま眠っている』 演出：中嶋さど



演出家プロフィール // 14+FOUTEEN PLUS 主宰・演出・俳優。nakashima group 演出・俳優。2009年、福岡演劇フェスティバルFFAC 企画創作コンペティションにて、最優秀作品賞・観客賞受賞。近年では、俳優の身体性を生かした作品が多く、韓国での上演や、学校での芸術鑑賞行事としても作品を上演している。

《演出家から参加者の方へ》10代の頃、寺山作品を追いかけていた時代がありました。当時はよく理解できなかったのですが、寺山修司が残した台詞や表現は、烈々とした気迫をもって、あの頃の私に語り掛けてきました。そして妙に懐かしさも感じるその言葉は、心の奥底に眠っている記憶を激しく揺さぶりました。今回、初めて寺山作品を演出します。いま、この台詞を声に出して言葉にした時、果たしてどんな感情を持つのだろう。どんな世界が見えてくるのだろう。参加者の皆さんと楽しみながら、寺山作品を紐解いていきましょう。

**講座** ラジオドラマをつくってみよう

かつて福岡でもラジオドラマ制作・放送され話題となった『大人狩り』。この戯曲をもとに、ラジオドラマづくりに挑戦します!  
 12月12・13日 15時～20時/アクロス福岡 【定員】20名程度【参加費】1,500円  
**★発表 12月15日 14時～/あじびホール** <上演・発表・シンポジウム>内で、録音した作品を発表。

参加者募集! 録音上演有

作品『大人狩り』 演出：福井信介



演出家プロフィール // 大分声優・演技教室講師。声優としての出演作に『プレイボール』『プレイボール2nd』『かわいいうでね』『ケロロ軍曹』『BLEACH』『地獄少女二籠』『メルヘヴン』『少年陰陽師』『シゴフミ』『サムライスピリッツ 天下無敵伝』『ローゼンメイデン』『パーテンドー』『ふしぎ星のふたご姫』など

《演出家から参加者の方へ》寺山修司にどんなイメージをもっていますか? 役者なら、演劇にたずさわる者なら寺山について語れない! なんとなく演劇の登龍門のような、これが理解出来て一人前のような。少なくとも自分はそのようなイメージをもっていました。試されているようで、なんとなく『怖い』んですね。今回は、そんなイメージをもっている方にも是非ご参加いただきたいです。寺山修司という看板を怖れず、素直に心を寄せていきたいと思っています。今だからこわいこと、伝わることもあるかも知れません。

**リーディング作品上演**

作品『毛皮のマリー』 演出：石田聖也 出演：峰尾かおり  
**★発表 12月15日 14時～/あじびホール** <上演・発表・シンポジウム>内で上演。

11日公開稽古あります!



演出家プロフィール // 2013年、大学演劇で知り合った仲間と演劇ユニットをめぐるところを旗揚げ。ほとんどの作品で演出を務め、劇作もおこなう。人間が生きていることで生じる悩み、人生への問い、生きづらさなどを俳優の「記憶」をモチーフに読み解き、演劇作品として上演している。2018年9月には「劇場」をテーマにした三部作の完結編「劇場のすゝめ」を発表。

**映像上演&トーク**

～寺山修司とその作品を知ろう～ 【参加費】各回1,000円

寺山修司の遺した作品の映像やトーク映像を鑑賞します。鑑賞後、ゲストと共に「寺山修司」や「社会をふりむかせる」ことについてのトークを行います。

上映

『レミング～壁抜け男』… 演劇実験室「天井桟敷」・最終公演。寺山が、命を懸けて作・演出した最後のメッセージとは?  
 『ビデオ・アンソロジー』… 演劇実験室「天井桟敷」(1967-1983)の全公演の軌跡を、寺山修司自身の解説と舞台写真、そして当時撮影されたビデオで構成したビデオ・アンソロジー。

【トークゲスト】



糸山裕子

アートマネジメントセンター福岡 (AMCF)  
 1960年生まれ。高校時代から演劇を始め、卒業後旧日本長期信用銀行入行。その後東京演劇アンサンブル養成所、演劇実験室◎万有引力を経て帰福。2004年AMCF設立。演劇祭や地元演劇人支援の他、指輪ホテル制作。ももち文化センター館長。



小松杏里

劇作家・演出家  
 80年代、演劇舎燈籠(とうろう)を率い、小劇場演劇界の中で人気を博す。その後、演劇プロジェクト月光舎を組織、北九州演劇祭参加や大阪・名古屋・ソウル公演なども行う。2015年、久留米シティプラザのドラマアーツ・ディレクターに就任。

**リーディング上演・発表&シンポジウム**



12月15日(土)14時～18時30分  
 あじびホール【参加費】500円

【シンポジウムゲスト】



下松勝人



川口典成

鞍手高校演劇部を経て福岡大学在学中の1981年、劇団仮面工房結成。オリジナル作品の他、唐十郎、北村想らの作品を演出。1990年、アーティスト達の出会いと発見の場「大耳ネットワークのタベ」を始める。2006年、「名島表現塾」を開設、年間3本の新作を塾生と共に発表。

ピーチャム・カンパニーの代表、演出。演劇実験場であるドナルカ・パッカーンを立ち上げ、日本における演劇と戦争との蜜月にあった「歓び」を探求する演劇上演を行う。その他、2015年に『ザ・モニュメント 記念碑』(作:コリン・ウグナー)を演出、2018年に東京、大阪、沖縄の3都市にて再演。



和田喜夫

1951年山口県下関生まれ。早稲田大学在学中より演出を始める。1982年から11年間、劇作家・岸田理生との共同作業を続け、92年オーストラリアのアレレード国際演劇祭で『糸地獄』を上演。2001年よりオーストラリアやカナダの先住民の劇作家との共同作業を始める。演劇企画集団楽天団代表。日本演出者協会理事。



**Time Table**

すべての講座・上演・発表に、日本演出者協会会員は無料で参加できます。

12/6(木)	19:00～22:30 戯曲を声に出して読んでみよう①	パビオビールーム	
7(金)	14:00～映像上映 『ビデオ・アンソロジー』ゲスト:糸山裕子	19:00～22:30 戯曲を声に出して読んでみよう②	パビオビールーム
8(土)	14:00～映像上映『レミング』	19:00～映像上映 『ビデオ・アンソロジー』	パビオビールーム
9(日)	14:00～映像上映 『ビデオ・アンソロジー』ゲスト:小松杏里	19:00～22:30 戯曲を声に出して読んでみよう③	パビオビールーム
10(月)		19:00～22:30 戯曲を声に出して読んでみよう④	パビオビールーム
12(水)		15:00～20:00 ラジオドラマをつくってみよう①	アクロス福岡
13(木)		15:00～20:00 ラジオドラマをつくってみよう②	アクロス福岡
14(金)	14:00～映像上映 『レミング』ゲスト:和田喜夫	19:00～22:30 戯曲を声に出して読んでみよう⑤	パビオビールーム
15(土)	10:00～ 戯曲を声に出して読んでみよう(発表準備) 14:00～18:30 リーディング上演・発表&シンポジウム 18:30～ 戯曲を声に出して読んでみよう・リーディング上演 ふりかえり	あじびホール	

※11日は、『毛皮のマリー』の公開稽古を行います